



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 株式会社エスイー 上場取引所 東
コード番号 3423 URL <https://www.se-corp.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮原 一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 野島 久弘 TEL 03-3340-5500
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,298	8.9	997	42.5	1,016	38.8	628	52.2
2023年3月期第3四半期	17,723	0.3	700	△57.9	732	△56.5	413	△61.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 641百万円 (56.0%) 2023年3月期第3四半期 411百万円 (△62.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	20.82	—
2023年3月期第3四半期	13.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	25,228	10,677	42.2	352.10
2023年3月期	25,493	10,428	40.7	343.81

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 10,636百万円 2023年3月期 10,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,403	3.7	1,085	△18.8	1,080	△21.5	687	△21.0	22.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	31,256,600株	2023年3月期	31,256,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,048,528株	2023年3月期	1,048,528株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	30,208,072株	2023年3月期3Q	30,174,739株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和による経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資などの持ち直しが見られました。一方で、地政学的リスクの高まり、資源価格及び原材料価格の上昇、供給面での制約、世界的な物価の高騰とそれに対応する各国の金融引締めによる海外景気の下振れリスク等の懸念により、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。また、世界経済についても、各国の政策等による持ち直しが期待されるなか、米欧のインフレ抑制と成長の両立、中国経済の持続的成長への回復には依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループと関連の深い建築・土木市場においては、官公庁工事はここ数年の高水準を維持、民間設備投資は漸く回復の兆しが見えてきており、アジア・アフリカにおける現地経済活動も新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻りつつあります。

このような経営環境のもと当社グループでは、2023年5月に公表した「中期経営計画2023-2025」において、2030年度を見据え、既存事業の土台固めのため生産を含めたサプライチェーンの効率化等を図るとともに、未来に向けた種まきのための実行体制を編成し、施策を確実に実施する体制としております。また、「中期経営計画2020-2022」の中で取り組んでおりました戦略的資源投入につきましては、エネルギー関連事業は次なる研究ステージに進み、海外関連では新たな事業の展開に着手するなど、新しい事業分野への足掛かりを固めるための先行投資を更に強化していくこととしております。これらにより、エスイーグループとして持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。また、昨今の原材料価格の上昇に対しては、営業部門と生産部門の連携により調達を最適化するとともに販売価格への転嫁を進めるなど計画利益の確保に努めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、建築用資材の製造販売事業の鉄骨工事において大型物件の納入が好調であったこと、建設用資機材の製造販売事業においてケーブル製品分野の納入が順調に推移したこと及び耐震金物の物件が増加したことにより、売上高192億98百万円（前年同期比8.9%増）と増収となりました。

利益面では、建設用資機材の増収効果及び建築用資材の原材料価格上昇分の価格スライドが認められたことにより、営業利益9億97百万円（前年同期比42.5%増）、経常利益10億16百万円（前年同期比38.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億28百万円（前年同期比52.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(建設用資機材の製造・販売事業)

この事業では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」への対応が進められている中、橋梁更新工事や豪雨災害などの対策工事が進められております。そのようななか、当第3四半期連結累計期間におきましては、前年同期に比べケーブル製品分野の納入が順調に推移したこと及び耐震金物の物件が増加したことにより増収増益となりました。

この結果、この事業の売上高は89億45百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益6億58百万円（前年同期比83.2%増）となりました。

(建築用資材の製造・販売事業)

この事業では、建築金物分野の内装関連は依然として新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が残っており民間設備投資の意欲は低い状況となっておりますが、仮設建材の販売及び鉄骨工事分野が関連する首都圏の都市再開発におけるビルやマンション等の工事が活発になっております。そのようななか、当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き鉄骨工事分野において大型物件の納入が好調であったこと、及び建築金物において大型都市開発の物件を中心とした工事が順調に進捗したことにより、増収となりました。利益面では、原材料価格上昇分の価格スライドが認められ、増益となりました。

この結果、この事業の売上高は80億58百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益5億22百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

(建設コンサルタント事業)

この事業では、フランス語圏での強みを生かして、アジア・アフリカ圏をはじめとする各国での道路・橋梁建設や公共性の高い設備機材整備、環境改善等についてのコンサルタント事業を展開、新規分野として国内外におけるBIM/CIM適用事業支援業務への参画を目指しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、受注している大型物件の進捗率が高かったことにより増収となりましたが、設計原価にかかる外注費や販管費が増加したことにより減益となりました。

この結果、この事業の売上高は5億87百万円（前年同期比10.2%増）、営業損失5百万円（前年同期は営業利益23百万円）となりました。

(補修・補強工事業)

この事業では、社会インフラ老朽化対策における橋梁、トンネルの補修・補強工事を推し進めております。国土強靱化対策等が進捗しており、受注環境は引続き良好に推移しております。

当第3四半期連結累計期間においては、期中に受注した案件の工事進捗が順調であったことにより増収となりました。また、予定通り進捗している工事の中で増額や利益率改善等、利益確保に努め、増益となりました。

この結果、この事業の売上高は17億7百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益2億6百万円（前年同期比41.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は252億28百万円（前連結会計年度末比2億65百万円減）となりました。内訳は、流動資産164億27百万円（前連結会計年度末比8億3百万円減）、有形固定資産73億51百万円（前連結会計年度末比5億6百万円増）、無形固定資産1億54百万円（前連結会計年度末比27百万円減）、投資その他の資産12億94百万円（前連結会計年度末比58百万円増）でありました。資産の減少の主な要因は、電子記録債権が7億37百万円、建物及び構築物が2億2百万円、機械装置及び運搬具が1億98百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が10億59百万円、現金及び預金が6億71百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は145億50百万円（前連結会計年度末比5億14百万円減）となりました。内訳は、流動負債が102億3百万円（前連結会計年度末比1億63百万円増）、固定負債が43億47百万円（前連結会計年度末比6億78百万円減）でありました。負債の減少の主な要因は、設備未払金を主としたその他流動負債が1億49百万円増加しましたが、借入金が6億29百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は106億77百万円（前連結会計年度末比2億48百万円増）となりました。純資産の増加の主な要因は、株主配当金の支払いにより利益剰余金が3億92百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が6億28百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年12月25日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,630,583	3,958,868
受取手形、売掛金及び契約資産	7,348,420	6,289,232
電子記録債権	1,649,844	2,387,285
商品及び製品	758,452	783,227
仕掛品	678,279	733,063
原材料及び貯蔵品	1,674,450	1,760,684
その他	518,470	541,724
貸倒引当金	△27,671	△26,628
流動資産合計	17,230,829	16,427,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,483,134	2,685,665
機械装置及び運搬具(純額)	788,817	987,594
工具、器具及び備品(純額)	88,390	97,689
土地	3,054,542	3,054,542
リース資産(純額)	341,761	276,620
建設仮勘定	88,006	249,158
有形固定資産合計	6,844,652	7,351,270
無形固定資産		
のれん	72,898	44,577
その他	109,023	110,186
無形固定資産合計	181,922	154,764
投資その他の資産		
投資有価証券	215,212	239,269
その他	1,049,560	1,082,647
貸倒引当金	△28,254	△27,187
投資その他の資産合計	1,236,518	1,294,729
固定資産合計	8,263,093	8,800,764
資産合計	25,493,923	25,228,222

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,768,761	3,877,860
電子記録債務	2,550,907	2,542,944
短期借入金	600,522	700,522
1年内返済予定の長期借入金	1,476,214	1,309,583
未払法人税等	169,506	166,210
賞与引当金	176,722	102,396
資産除去債務	—	57,828
その他	1,297,164	1,446,168
流動負債合計	10,039,798	10,203,514
固定負債		
長期借入金	3,468,330	2,905,001
役員退職慰労引当金	572,080	591,560
退職給付に係る負債	434,565	438,678
資産除去債務	171,003	105,388
その他	379,609	306,690
固定負債合計	5,025,588	4,347,318
負債合計	15,065,386	14,550,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,228,057	1,228,057
資本剰余金	1,026,676	1,026,676
利益剰余金	8,258,713	8,494,931
自己株式	△192,656	△192,656
株主資本合計	10,320,791	10,557,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,320	80,523
繰延ヘッジ損益	55	△360
退職給付に係る調整累計額	1,779	△984
その他の包括利益累計額合計	65,154	79,178
非支配株主持分	42,590	41,201
純資産合計	10,428,536	10,677,389
負債純資産合計	25,493,923	25,228,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	17,723,437	19,298,816
売上原価	13,108,788	14,101,517
売上総利益	4,614,648	5,197,298
販売費及び一般管理費	3,914,641	4,200,038
営業利益	700,007	997,260
営業外収益		
受取利息	118	63
受取配当金	8,075	8,856
受取手数料	2,384	536
受取家賃	6,372	6,424
為替差益	2,231	—
貸倒引当金戻入額	836	2,310
スクラップ売却益	36,836	28,415
その他	16,905	22,488
営業外収益合計	73,760	69,094
営業外費用		
支払利息	19,910	24,294
売上割引	16,220	10,032
為替差損	—	10,602
寄付金	3,070	3,121
その他	2,255	2,072
営業外費用合計	41,456	50,123
経常利益	732,310	1,016,231
特別利益		
固定資産売却益	8,762	5,854
特別利益合計	8,762	5,854
特別損失		
固定資産除却損	2,400	521
役員退職慰労金	1,500	—
特別損失合計	3,900	521
税金等調整前四半期純利益	737,172	1,021,565
法人税等	321,709	394,031
四半期純利益	415,462	627,533
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,357	△1,388
親会社株主に帰属する四半期純利益	413,105	628,922

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	415,462	627,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,524	17,203
繰延ヘッジ損益	△1,288	△415
退職給付に係る調整額	△4,417	△2,764
その他の包括利益合計	△4,181	14,024
四半期包括利益	411,281	641,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	408,924	642,946
非支配株主に係る四半期包括利益	2,357	△1,388

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサ ルタント事 業	補修・補強 工事業			
売上高							
一時点で移転される財	8,035,895	5,353,652	44,970	385,234	13,819,752	—	13,819,752
一定の期間にわたり移転 される財	—	2,048,028	487,757	1,270,004	3,805,789	—	3,805,789
顧客との契約から生じる 収益	8,035,895	7,401,680	532,727	1,655,239	17,625,542	—	17,625,542
その他の収益	97,894	—	—	—	97,894	—	97,894
外部顧客への売上高	8,133,789	7,401,680	532,727	1,655,239	17,723,437	—	17,723,437
セグメント間の内部売上 高又は振替高	342,443	567	—	200	343,210	△343,210	—
計	8,476,233	7,402,247	532,727	1,655,439	18,066,647	△343,210	17,723,437
セグメント利益	359,308	486,145	23,948	145,432	1,014,834	△314,827	700,007

(注) 1. セグメント利益の調整額△314,827千円には、セグメント間取引消去2,343千円、のれんの償却額△34,346千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△282,824千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサル タント事 業	補修・補強 工事業			
売上高							
一時点で移転される財	8,854,573	5,682,273	68,867	378,708	14,984,423	—	14,984,423
一定の期間にわたり移転 される財	—	2,376,621	518,204	1,329,126	4,223,952	—	4,223,952
顧客との契約から生じる 収益	8,854,573	8,058,895	587,071	1,707,835	19,208,375	—	19,208,375
その他の収益	90,440	—	—	—	90,440	—	90,440
外部顧客への売上高	8,945,014	8,058,895	587,071	1,707,835	19,298,816	—	19,298,816
セグメント間の内部売上 高又は振替高	316,511	10,844	1,500	—	328,855	△328,855	—
計	9,261,525	8,069,739	588,571	1,707,835	19,627,672	△328,855	19,298,816
セグメント利益又は 損失 (△)	658,124	522,982	△5,514	206,423	1,382,016	△384,756	997,260

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△384,756千円には、セグメント間取引消去3,619千円、のれんの償却額△28,320千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△360,054千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。